

シグマ研究委員会

59年度第1回核データニュース編集委員会議事録

日 時 昭和60年1月18日(金) 10:00~12:30
場 所 原研本部第4会議室
出席者 原田(原研), 中嶋(法大), 喜多尾(放医研), 吉田(NAIG),
中川, 浅見(原研)

議 事

1. 編集方針の検討

答申の内容に応じて、各項目毎に討議を行い次のようにすることとした。

- 発行日: 1月, 5月, 9月の末日とする。
- 原稿の〆切り: 発行月の前月の20日
- 編集委員会: 発行の次の月の第1週を目標とする。
- 編集委員の任期の確認: 59年度に発足したことから, 半数が交替する2年の任期を60年度末までとする。

内容に関して

(1) 巻頭言: 気楽に書いて貰うために, 今後は「巻頭言」と云う言葉は使わないことにする。

- シグマ委以外の人にも書いて貰う。
- 予定を立て易いので数号先きまで依頼先を決めるようにする。

(2) 入手資料リスト

- 現在は外国から入手したものを扱っているが, 国内一般原研内のレポートも扱うことにし, 和文のタイトルは英文にして入れる(ただし英訳のあるもの)。
- 文献の入手方法を明記する。現在の色ページにある説明をリストの近くに置く。
- 文献の内容での分類があると良い——今後検討する。
- 和文タイトルだけの文献の処理については中川氏と浅見氏とで検討する。
- 国内文献の入手の手立てについては別途検討する。

(3) 文献紹介

- 文献のコピーを依頼して来た人に頼むのも1つの手である。
- 編集委員で文献・頼む人を随時検討する。

(4) 話 題

- 国際会議・国際会合などの記事は堅苦しいものは止めて、内輪話や雰囲気
の伝わる内容のものとする。
- 学会の際の特別会合の話も積極的に扱うこととし、自動的でなく、意図的
にのせることとする。
- 解説記事も扱う、outside user のための解説記事も考えることにする。
- その他いろいろなものが考えられる。

(5) シグマ研究委員会

- 会合の日時、議事等 事務局が担当する。
- 活動の紹介 毎号WGの紹介を2～3件のせることにする。核データセ
ンターも含める。
- シグマ委の組織図を毎号掲載し、そのWGの箇所に活動紹介のあった号数
を付す。

(6) 掲示板（お知らせ）

ニュースを適宜のせることにし、事務局が担当する。

(7) 行事予定

事務局が担当する。

(8) 投 稿

名称が良くないので検討する。当面は実例でPRすることにし、何人かの人
に原稿を依頼する。

2. 次号の編集の検討

討議の結果、次号（5月末発行）の内容を大よそ次のようにすることにした。

（敬称略），（ ）内は執筆者又は依頼者

新体制の話 （原田）

JENDL-2の完成 （中川）

話題： 中国核データ活動 （原田）

話題： 医学放射線データ （長崎医大）

話題： データ・ファイル（ポスターセッションから） （吉田）

WG紹介 (1) 医学用原子分子・原子核データWG（喜多尾）

(2) 重核サブWG (中川)

投稿： 中嶋, 山室

なお, 次号以降の分については大よそ次のようにする。

60年9月号:

話 題: Santa Fe会議

話 題: Decay heat (中嶋)

61年1月号:

話 題: 核データ研究会

61年5月号:

創刊20周年特集号を予定する。

原稿枚数は一応制限を付けることにし, 500字詰原稿用紙2枚半で刷上り
ほぼ1頁であるとして, 次のようにすることにした。

巻 頭 言 1~2頁

話 題 3~5頁1件

WG紹介 1~2頁1件

投 稿 ~5頁1件

次回は, 3月11日(月)午後 東京本部で行う予定